

門真未来市民会議

検討報告書

平成 21 年6月

門真未来市民会議

目次

はじめに	1
1. 検討結果の概要	2
2. 検討の経過	5
参考資料-1 ～各回の経過～	6
第1回門真未来市民会議	6
第2回門真未来市民会議	10
第3回門真未来市民会議	12
第4回門真未来市民会議	16
第5回門真未来市民会議	24
第6回門真未来市民会議	26
第7回門真未来市民会議	27

はじめに

「門真未来市民会議」は、門真市第5次総合計画の策定に向けて、産学公民協働のまちづくりの推進を实践する第1ステップとして、市の公募により参加した市民が主体となって、まちづくりの課題や取り組みについて提案することを目的に設置されました。

私たちは、門真市が抱える様々なまちづくりの課題や課題の重要性、また、その課題への取り組みなどについて、日頃感じていることなど市民の視線から意見を出しました。

今、門真市のまちづくりで大切なことは、未来を託す門真の子どもたちが「このまちに生まれて良かった」といつまでもまちに誇りと愛着を持つことができるようにしていくことが必要です。

未来を託す子どもたちに夢ある未来の門真を残すことができるよう、限られた厳しい財源の中、一朝一夕に解決することが難しい様々なまちづくりの課題について、今、新たなまちづくりのスタートをきる気持ちで、私たち市民と市役所が手を取り合って、一歩ずつ着実に取り組み、解決をしていくことをめざしていかなければなりません。

参加者各自は、まだまだ日頃感じている多くの問題や課題、また、その問題や課題への取り組みについてのアイデアなど、多くの意見を持っていますが、「門真未来市民会議」では、今、門真市のまちづくりで重要なことはいったい何なのか、それぞれ参加者の思いに違いはありますが、第5次総合計画期間である10年間に取り組むべき主要な課題とその重要性などについて、参加者の共通の思いがまとまりました。

この報告書は、7回にわたる「門真未来市民会議」での私たちの意見を報告するものです。

「門真市第5次総合計画」の策定に向けて、今後、多様な組織で検討が加えられますが、この報告書に示します市民の意見を十分に理解、尊重し、「門真市第5次総合計画」に反映して頂くことを切に望みます。

平成21年6月

門真未来市民会議参加者 (五十音順)

泉光典、岩崎由資、大倉基文、大西真、岡本修子*、奥田尅、河田丈治、小林昌美、角田憲史、竹内靖人、豎月邦治*、内藤弘子*、中西正憲、中村三良、中村幸久、中山七郎、野村強起*、東口正、藤本博史、古川日出男、前島敏、実島直美、盛一正人

*審議会第1号委員(市民)

1. 検討結果の概要

第2回会議では、私たちが日頃感じているまちづくりの課題について自由に意見を出し合いました。

第3回会議では、第2回会議での各自の意見から、第5次総合計画において対応すべき課題を整理し、それらの課題の中でも、重点的に対応すべき課題について検討を行いました。

第5次総合計画において重点的に対応すべき課題を検討した結果、多様な課題を次の2つの基本的な課題に集約できると提案できます。

第5次総合計画において重点的に対応すべき課題

生きる力と豊かな心を育む教育の推進

持続可能な都市経営への取り組みの推進

第5次総合計画策定に際しては、これら2つの基本的な課題について重点的に対応するとともに、これら2つの基本的な課題に集約を行った次のようなそれぞれの個別の主要課題についても視野に入れ、取り組みを進めていくことが必要です。

*以下の個別の主要課題は、重要性が高い順に並んでいます。

「生きる力と豊かな心を育む教育の推進」に向けて

- ・学力の向上をめざした教育の推進
- ・地域ぐるみの教育推進
- ・生涯学習環境・機会の充実
- ・高齢者の生きがいづくりの推進
- ・高齢者の健康づくりの推進
- ・家族や地域の絆の強化
- ・障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づくり
- ・子どもが安心して遊べる公園や広場の充実
- ・文化芸術を楽しめ、自らも参加できる社会の形成
- ・国際交流を促す環境づくり

「持続可能な都市経営への取り組みの推進」に向けて

- ・市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成
- ・市民意見の行政反映システムの構築

- ・目的や目標、結果がみえる施策の設定と推進
- ・企業誘致による雇用の創出
- ・市民が市政に親しむことができる環境づくり（納税者目線での行財政運営）
- ・モノづくりを中心とした既存産業の強化、人材育成の推進
- ・NPO・ボランティアなどとの連携による協働社会の形成
- ・美しいまちづくりの推進
- ・高齢者が安心して生きがいを持って暮らせ、まちに活気を生み出す若年、ファミリー層が「住みたい」「住み続けたい」と思うまちづくりの推進
- ・バリアフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進
- ・子どもを安心して産み育てることができる環境整備
- ・高齢者の生きがいづくりの推進
- ・高齢者の健康づくりの推進
- ・地域における防災・防犯対策の推進
- ・自治会・地域コミュニティの活性化
- ・循環型社会形成に向けた取り組みの推進（ごみ減量化、リサイクル・再資源化等）
- ・障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づくり
- ・安全で便利に通行できる道路整備
- ・駅前シンボルゾーンにおけるまちづくりの推進
- ・農業（レンコン栽培など）の保全と振興
- ・市民相互に支え合う地域福祉の推進
- ・社会保障（生活保護の適正化等）の充実
- ・災害対策（防災体制の確立、自主防災の推進等）の推進
- ・自転車が安全に利用できるまちづくりの推進
- ・誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実
- ・わかりやすい市の組織の再編
- ・行政の積極的な情報公開

また、第4回会議及び第5回会議では、これら重要と考えられるまちづくりの課題について、「市民ができること」や「市民と市が協力してできること」、「それらの取り組みに必要な支援」とともに、「10年後に望む姿」を提案しました。

第5回会議では、重要と考えられるまちづくりの課題の中でも、特に、重点的に対応すべきと考えられる「教育・文化分野」、「健康・福祉・医療分野」、「人づくり・市民との協働分野」の3つのテーマについて意見を出し合いました。これら私たち一人ひとりの意見は、参考資料に掲載しています。

第5次総合計画では、これら私たち一人ひとりの意見を参考に、それぞれのまちづくりの課題について「市民ができること」や「市民と市が協力してできること」とともに、みんなでまちづくりに取り組んだ10年後にはどのようなまちの姿をめざすのか、「10年後にめざす姿」を明らかにしてほしいと考えます。

最後に、門真未来市民会議の話し合いを通じて、第5次総合計画策定に際する基本的な視点とすべき私たちの共通の思いを整理すると、次のようになります。

第5次総合計画策定に際する基本的な視点の提案

実現可能で成果が市民に見える「第5次総合計画」

2. 検討の経過

門真未来市民会議の検討経過を示すと次表のようになります。

	開催日時・場所	検討内容
第1回 門真未来市民会議	平成21年2月27日(金) 午後7時～午後9時15分 門真市立文化会館1階ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の役割や第5次総合計画の策定方法、スケジュールについて ・門真未来市民会議の役割と今後の本会議の進め方について ・門真市都市ビジョンについて ・社会の潮流や門真市の現状、動向について ・意見交換
第2回 門真未来市民会議	平成21年3月27日(金) 午後7時～午後9時 門真市立文化会館1階ホール	◇ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：第5次総合計画策定に向けて、日頃、感じていることや思っていること、知りたいことなど(自由意見交換)
第3回 門真未来市民会議	平成21年4月8日(水) 午後7時～午後9時 門真市役所別館3階第3会議室	◇ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：今後10年間に重点的に取り組むべき課題
第4回 門真未来市民会議	平成21年4月22日(水) 午後7時～午後9時 門真市立文化会館1階ホール	◇ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：重点的に対応すべき課題について、それぞれの目指すべき10年後の姿とその実現に向けた必要な取組みの提案
	平成21年4月24日(金) 午後7時～午後9時 門真市立文化会館1階ホール	
第5回 門真未来市民会議	平成21年5月13日(金) 午後7時～午後9時 門真市立文化会館1階ホール	◇ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：強化を図るべき分野における主要課題の取り組みと目指すべき10年後の姿の検討 *強化を図るべき分野…「教育・文化分野」、「健康・福祉・医療分野」、「人づくり・市民との協働分野」
第6回 門真未来市民会議	平成21年6月10日(水) 午後7時～午後9時 門真市立文化会館1階ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・門真未来市民会議報告書(案)について検討
第7回 門真未来市民会議	平成21年6月24日(水) 午後7時～午後8時半 門真市立文化会館1階ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・門真未来市民会議報告書(案)の確認

参考資料－1 ～各回の経過～

第1回門真未来市民会議

◇日時：平成21年2月27日（金）午後7時～9時15分

◇場所：門真市立文化会館1階ホール

◇会議経過

1. 開会の挨拶（市事務局）
2. 本会議の公開・非公開について
 - ・事務局より本会議の公開・非公開に関する説明が行われ、参加者に了解が求められたところ特に異議意見はなく、公開とすることを決定
3. 第5次総合計画策定にかかるこれまでの経緯や進め方について（市事務局）
4. 第5次総合計画策定支援ファシリテーターの自己紹介（ファシリテーター）
5. 参加者の自己紹介

<以後、ファシリテーターが進行>

6. 総合計画の役割や第5次総合計画の策定方法、スケジュールについて
7. 門真未来市民会議の役割と今後の進め方について
8. 門真市都市ビジョンについて
9. 以上の説明に関する質問・意見
 - *特に、質問・意見はなく、先に進める
10. 社会の潮流や門真市の現状、動向について
11. 意見交換

<第2回会議以降のテーマ別グループ分けについて>

- ・全部のテーマに関心があるので、全部のテーマに参加したい。（参加者）
- ・できるだけ多くの意見を頂きたいので、テーマ別に分かれ、ポストイットカードに意見を書きながら、意見を発表するワークショップ方式が望ましいと考えているが、全テーマをいっしょに全員で行うことも可能である。（ファシリテーター）
- ・グループを分けて検討することは良いと思うが、いきなりテーマ別というのは難しいと思う。門真の未来像から検討し、順に検討を進めながら、テーマ別の課題などを検討していく方法が提案できる。（参加者）
- ・最初は、一度、自由に意見を出してもらい、出てきた意見からテーマを絞り込んでいく方法かどうか。（ファシリテーター）
- ・参考資料にあるように、門真市は北河内地域でも順位の低いものがたくさんある。順位を少しでも上げていくようなことを考えていかなければならない。（参加者）
- ・みんなで話し合うことも大切であるが、各自がそれぞれ関心あるものをメインとし、それ以外に関心があるものをサブとして参加できるようにすれば、広く深く掘り下

- げて検討できるのではないかと思う。(参加者)
- ・最初は、広く検討し、徐々にテーマを絞り込んでいった方が良いのではないかと思う。(参加者)
 - ・6月までに検討を終えなければならないという時間的制約があるならば、メインとサブを掛け持ちで参加し、意見を交換したら効果的ではないかと思う。(参加者)
 - ・検討の方法として、時間がないため分野別に話し合ってもらくことから考えていたが、とりあえず、1回目の意見交換は、自由に討議し、その意見から今後どのような検討方法が良いか、提案をさせて頂く方法はどうか。(ファシリテーター)
 - ・「戦略づくり」などの用語が使われているが、なじまないのではと思う。リーダーを育てていくのか、底辺を広げていくまちづくりなのか誰を対象に絞った計画にするのか、的を絞ることが必要ではないかと思う。例えば、未来ということであれば、未来を担う子どもに私たちが残していくものを考えるということが大切であると思う。希望として、今から根付いていく言葉を使用し、小学校3～4年生でも分かるものにすれば、会議の資料を子どもに見せることができるのではないか。(参加者)
 - ・門真未来市民会議が何をするとところかが分からなくなっている。いきなりこのようなテーマでと言われても困惑する。(参加者)
 - ・都市ビジョン策定に際して設置された「門真まちづくり市民会議」は、全員公募による市民会議であり、このときに出された意見を尊重し、この意見を踏まえながら、次のステップに進め、市民の方の意見をまとめていきたいと考えていた。是非、「門真まちづくり市民会議」の報告書を見て頂き、次回の会議では、自由に一度意見を発表して頂く会議としたい。そのため、会議の回数については増えることも考えられるので、調整をしたいと思う。(ファシリテーター)
 - ・会議は、本日のような平日の夜に開催されるのか。(参加者)
 - ・基本的には、平日の夜を考えている。(ファシリテーター)
 - ・多くの参加者や傍聴を考えるなら、休日の昼間の開催を考えた方が良いのではと思う。(参加者)
 - ・この門真未来市民会議については、平日の夜が良いか、土日が良いか、意見を頂きたい。(ファシリテーター)
<特に、意見はなく>
 - ・本日(平日の夜)について多くの参加を得ており、とりあえず、次回は、平日の夜に開催したい。この会議を進めていく中で、土日の開催も考えていきたい。(ファシリテーター)
 - ・終了時間が差し迫り、一人ずつしゃべる時間が少なくなっているが、どうするか。(ファシリテーター)
 - ・せっかく集まったのだから、一人一言でも最後に話しをした方が良いと思う。(参加者)

<一人一言>

- ・門真の未来を子ども達に創っていくのは大人の責任だと思う。少しでもよいまちなるよう、がんばっていききたい。
- ・第4次総合計画では目標が定められていなく、評価や総括がしにくいと思う。第5次総合計画では、ここまでできたと反省や評価ができるよう目標を定めたものにしていききたい。どこにでも通じる総合計画ではなく、門真ならではのものにしていく必要がある。
- ・総合計画を策定することは随分難しいことだと思う。今日、お願いしたいことは次回の開催を土日に開催するか、本日、決めて頂きたい。
- ・財政的に厳しい状況からも、いろいろな人が集まってくる魅力あるまちにしていくことが必要であると思う。
- ・未来の子どもに託せるような門真にしたいと思う。
- ・第4次総合計画でどこまでできたかを見ながら、第5次総合計画を考えていく必要があると思う。社会の潮流では国際化などのことに触れてあるが、具体的なテーマでは触れられていない。国際化などについてもみんなで考えていききたいと思っている。
- ・長く門真に住んでいるが、知らないこともたくさんあるので、この会議に出席し、門真のことをもっと学習していききたい。
- ・門真に生まれ育ち門真のことが好きである。そのような人が今この門真にどれだけいるのか。そのようなことを疑問に感じており、これからの会議で議論していききたいと考えている。
- ・内容が難しく、市民にどれだけ理解できるのかと感じた。形にこだわらず、子どもも理解できるような話し合いの内容にしていききたいと思う。より良いまちになるよう、がんばっていききたい。
- ・本日の話しでこの会議の方向性は概ね分かったので、次回からは勉強しつつ、発言していければと思っている。
- ・これまで門真がどのような状況なのかあまり考えなかったが、本日の資料で少し理解でき、落ち込むところもあった。せつかくの機会なので、次回からも明るい気持ちで参加したいと思う。
- ・門真に住んでいるのは人間だけではなく、野良猫なども住んでいる。そのような人間だけではない視点も含めてまちづくりを考えていければと思う。
- ・私も初めて知ったが、総合計画の存在を市民がどれだけ知っているか。教育関係に関心を持っているが、他のこともできるかぎり勉強していききたい。
- ・文化や福祉なども含め削減ばかりが目につき、未来に希望が持てるように思えない。第5次総合計画で達成できないとむなしい状況になると思うので、子どもに誇りを持ってもらえるようなものにしていききたいと思う。

- ・住んでいる人がいかに良いまちにしていこうかといろいろ工夫していくまちを考えないといけないのではないかと思う。
- ・勉強をしていきたい。勉強のために参加している。
- ・子どもたちのためにがんばっていききたいと思うが、若い人がまちづくりに参加できるようにしていくことが大切だと思う。
- ・これだけ資料をまとめるのは大変であり、この資料があるからいろいろな議論ができるのだと思う。このような資料を通じて勉強しながら議論をしていきたい。
- ・このような会議があることが市民に伝わっていないと思う。市民も同じ気持ちで意識を変えていくことが大切だと思う。市民が真剣に考えることは大事であり、大人の責任として、子どもに「すばらしい門真」と言われるようになるようにがんばっていききたい。
- ・この会議は、総合計画の大枠を決めていくことになると思うので、今後の検討において、いろいろ意見を言っていきたい。
- ・住んでいる近くのことは分かるが、市全体のことはわかっていないので、勉強しながら議論をしていきたい。
- ・子育てが終わり、このような場に参加しているが、これからの門真のまちづくりは子育て世代が重要な役割を果たすと思う。教育と環境などについて、市民の目線でわきあいあいと楽しいまちにするようにがんばっていく必要があると思う。

<当日参加されていたオブザーバーの感想>

- ・本日の一人一人の意見が貴重であり、みなさんの意見をしっかり学び、最終的な検討の場となる審議会で議論をしていきたくと思う。(審議会委員)
- ・一人一人の意見を興味深く聞かして頂いた。みなさんの門真市の未来への熱い思いと知恵を活かし、実効性ある総合計画にしていく必要があると考えている。(審議会委員)
- ・本日は説明が主体であり、市民のみなさんの意見はあまり聞けなかったが、未来を語る場なので、楽しい場になればと思う。(審議会委員)
- ・本日は市民のみなさんの意見はあまり聞けなかったが、このような会議で市民の方の意見を聞くことが重要ではないかと考えている。次回以降も参加し、意見を聞きたいと思っている。(審議会委員)

<次回開催について>

- ・3月17日(火)、18日(水)、27日(金)のいずれかを考えているが、土日開催の提案もあったので、少し希望をとらせていただきたい。*挙手による希望を募る。(事務局)
 - ・平日の夜間の希望が多いので、基本は平日夜間として、数回に1度について土日開催することでよいか。(事務局)
- *特に異議無く、基本は平日夜間として、数回に1度、土日に開催することに決定

◇各グループの模造紙に書かれた意見（第2回門真未来市民会議）

第2回門真未来市民会議 各グループでの検討結果

Aグループ
 森口 豊 丸田 中村 河田 大西 内藤

街並み
 急行できる(住居)でほしい
 駅前周辺は商業地帯
 パルクのある建ても建設がよいと思う
 商業が盛んな
 交通の便はよい
 駐車場の確保

安全
 防犯カメラの設置が有効か
 人混みとして歩道の幅を確保し歩道幅を確保
 歩道の幅を確保し歩道幅を確保
 歩道の幅を確保し歩道幅を確保

公共施設
 図書館の充実
 市民センターの充実
 市民センターの充実
 市民センターの充実

国際
 外国人が多く住んでいる
 外国人が多く住んでいる
 外国人が多く住んでいる

環境
 緑地を増やしてほしい
 緑地を増やしてほしい
 緑地を増やしてほしい

教育
 教育の充実
 教育の充実
 教育の充実

行政へ
 行政への要望
 行政への要望
 行政への要望

今後の街作り
 今後の街作り
 今後の街作り

住民生活の向上対策
 住民生活の向上対策
 住民生活の向上対策

Bグループ
 竹内 中山 小森 中西 藤本

教育の改善
 教育の改善
 教育の改善

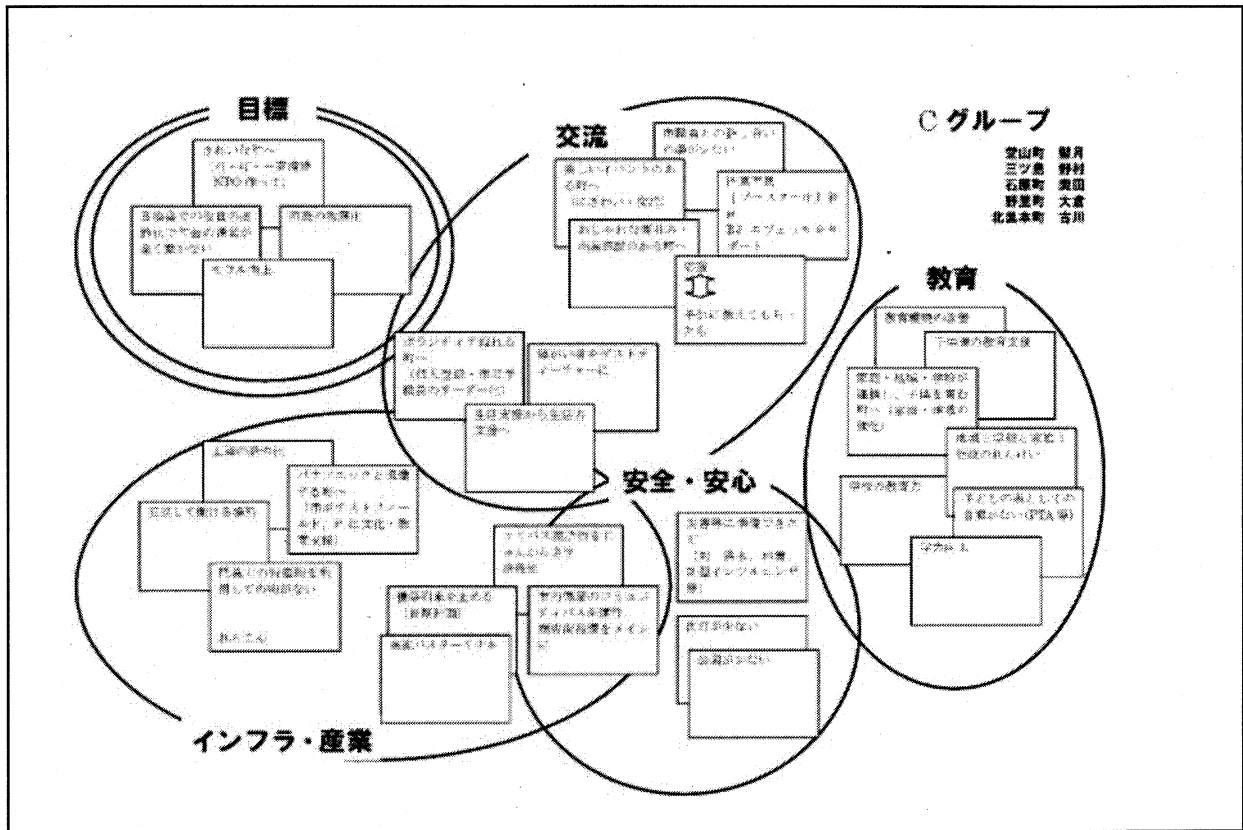
文化
 文化
 文化

命の大切さ
 命の大切さ
 命の大切さ

自立・雇用
 自立・雇用
 自立・雇用

街の元気
 街の元気
 街の元気

まちづくり
 まちづくり
 まちづくり



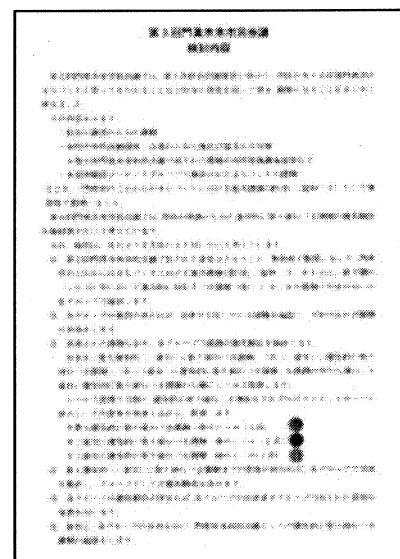
第3回門真未来市民会議

◇日時：平成21年4月8日（水）午後7時～9時

◇場所：門真市役所別館3階第3会議室

◇会議経過

1. 開会（市事務局）
2. 前回門真未来市民会議の結果報告と第3回会議の進め方等について（ファシリテーター）
3. ワークショップ
 - ・テーマ：今後10年間に重点的に取り組むべき課題
4. グループ別の検討結果の発表
 - *各グループでどのような話し合いや意見が出されたかを発表
5. 門真未来市民会議での今後10年間に重点的に取り組むべき課題の確認
6. 今後の検討の進め方などについて
7. 振り返りシート（アンケート）への記入
8. 閉会



◇第3回門真未来市民会議に向けて事前に配付された資料（資料-1は第2回会議に掲載のため省略）

第2回門真未来市民会議の意見のまとめ(案)		資料-2	
分野	話かすべき新しい所や改善が求められる意見	まちづくりの提案意見	
都市イメージ	遊休地等集合住宅が多い	パナソニックと協賛する町へ(市がラストマイル、Pは文化・教育支援) きれいな町へ(新・都・一斉清掃、APPO化) 健康・環境・教育・産業、それぞれが影響しあっている ポテンシャルある町へ(法人登録・新卒手続員のリーダー化) 楽しいイベントのある町へ(にぎわい・交流) 住んでて楽しいまち	
	市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ランドの形成	門真のスピリットをもっとアピールしてほしい。新築大塚くんがほしい。笑田のつづみ 門真市街「プースター化」計画、らびヴェンチャーサポート	
人口・世帯の特性	生活保護者が多い 若年世帯が多い人が多く住んでいる	子育て世代への支援を強めて、門真に住みたい人をもやす 生活環境から生活力支援へ 貴婦人の住む街にさせる 産業活性化を推進させる	
市街地環境	公共交通サービス	運行でらびは標準してほしい 交通の便が良い	都市計画を止める(長期計画) 高速バスターミナル
	道路交通環境	駅前道の自転車が多い	市内緑道のコミュニティバスを運行 商店街環境をメイン コアバスを推進するじんかんさび活性化
	生活道路(歩行者・自転車道)	道がせまい バスが通る道路でも自転車が邪魔になるほど狭い 道幅が狭い 生活道路が狭くて危険(道路幅が狭いので通行できない)	駅周辺の整備 車道を広げる
	公園	公園が少ない 公園の質が低い(公園が少なく、遊具で遊ぶ子供が多い)	公園に「火を入れないよう」として警備があるが、火事用のドッグラン付の公園があってもいいのでは
	下水道	駅周辺の下水道設備	
産業	産業全般	産業が衰退しているのでは 商業街の活性化を求めている(物がない、れんこん)	産業の活性化
	商業	新しい活気がない。幸福商店街などシャッター通りにもなりつつある 商店街が狭い	おもしろな街並み・商業施設のある町へ
	工業	住環境と工業地が隣接	工業の活性化
	農業		農業を推進してはどうか(地産地消、みどり育てる、みどり育てる、みどり育てる)
福祉	雇用環境		雇用機会の充実
	子育て環境	親のあり方、ワークライフも 働き、ネグレクトが増えている	子育てを通じて親自身が成長することができる子育てへの環境整備
教育・文化	子どもの学力	学力だけでなく体力も強い小学生	学校教育の充実(学力を向上させるための方法を考える) 学力向上
	教育環境	教育レベルが高い 教育レベルの低下(中学卒業や高校中退が多い) 授業が太短い(授業) 子どもの親としての負担がない(PTA等) 授業の時間になると目の負担でクラクラする 授業にばかり学習を促し、教育の意義をへらしている 小・中学校の学力低下は親のレベルを表していると思う 高校生の進学について親戚では？高校に推薦する方法はあるのか? 教育に悪い中身の心をそだてていない人を入行進とすことばか引いている	学校の充実(教育) ふつうに国立立大学へ進める教育 教育環境の改善 子供の教育支援 学校の充実 障がい者をアスティーチャーに 家庭・地域・学校が連携し、子供を育てる(家庭・地域の強化) 地域と学校と家庭と行儀のれんけい 応援——子供に教えてもらったら
	生涯学習環境	伝統文化歴史を継承しすぎる 市内の芸術、人物等のアピール不足 市民が生涯活動をする場が少ない。(ふるまーは高い)音楽が難しい文化施設、公民館? 芸術系の文化活動への関心が低い 文化活動への支援、予算	図書館の活用を促す 文化や芸術環境づくり 生涯学習を推進する
	男女共同参画環境		男女共同参画と共にそれぞれの持ち分の分野を推進する事に繋がる
	安心・安全環境	防犯が少ない 治安が悪い 防犯が悪い 交通安全ルール 防犯が少ない	防犯対策 防犯対策 防犯対策 防犯対策
市民生活・市民活動	多文化共生環境	中国人が多く住んでいる 支店に外国人がいるかわからない 外国人が多い	国際交流を促す 国際交流を促す 国際交流を促す
	コミュニティ	コミュニティのつながりが弱い コミュニティのつながりが弱い	子供を大切にすると併せて若年層を温める風潮を導く 老人のかかわりを増やす(地域の行事) 市民のコミュニティを強化(市街への参加)
環境	市民意識	市民の意識性 モラル向上 ストレス社会 飲食費を支払わない人が増えているように 不潔なゴミが多く、モラルがない	人間として互いに助け合う精神を養う 障がい者の人の意見を聞く(意見を伝える) 自立 志川橋南寄道には「ノラ猫」エサをふるまえるなどの貼り紙が多いが、ノラ猫が増えないよう(条例を作って、飼い主が去勢等の対策をとるよう促してほしい)
	環境活動の取り組み		動物の糞の処理 資源ゴミを分別してリサイクルの強化 ゴミの削減を目標に出たらどうか? 収集する人達の困った事など、住民の提案等、協力しあえばよい
	美化・浄化対策	公園がきれい 川がきれい 公園がきれい	公園の美化 公園の美化 公園の美化
行政運営	行政運営	生活保護費が多いが自立支援しているのか? 低所得者のたいどうが良い 公民館が稼いでいい 情報の提供が良くない ふるまーももっと稼働率を上げてほしい 市などの公共施設の売却(市民プールの売却もあげてもいい) 社会教育のNPO、市民会は土日に行う方がよい 市職員との話し合いの場が少ない 市職員の市外・市内の比率	市民の人的効率的な配置 低所得者率を上げる 市民の管理を適定
	その他公共施設運営等		ポテンシャルのある行事に対しての市や市職員の参加
第5次総合計画の策定方法	この計画について意見はありますか? 計画の資料の読みかた 今年に市として計画、計画が出ているがその実行状況が分からない(重要)です 計画の策定方法を知らない	この点を踏まえてそれを踏まえて 今年には第5次総合計画データを分析し、テーマ、目標を決めたいと思う 本日の市民・職員のアンケート結果も参考に 多くの市民の意見が出ているので高の信頼性を高める 本市民会議員と一緒に行うかどうか? 市民が自分自身で考える、行政はコーディネーター・アドバイザーに	

◆投票された点数の結果と模造紙に書かれた理由（第3回真未来市民会議）

■この10年において重点的に対応すべき課題の優先性とその理由

分野	この10年において重点的に対応すべき課題(案)	取り組み優先順位				順位	この10年において重点的に対応すべき課題とした理由	
		Aグループ	Bグループ	Cグループ	合計点			
人口や世帯構成	1 市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成			6	6	3	パナソニックのみでなく、都市名のブランド知名度UPの方が必要	
	高齢者が安心して生きがいを持って暮らせ、まちに活気を生み出す若年・ファミリー層が「住みたい」「住み続けたい」と思うまちづくりの推進			3	3	6	高齢者の方々が安心して暮らせるのはもちろんの事、子ども連やその家族が住みたい町づくりこそが市のイメージアップにつながり、市の財政を作るもととなると思う。	
	3/VRIフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進			3	3	6	移動の制約を少なくすることで、またに活性化したまちづくりが出来る。	
都市構造や交通、市街地環境	4 自転車安全に利用できるまちづくりの推進				0			
	5 誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実				0			
	6 密着市街地再生の推進				0			
	7 駅前シンボルゾーンにおけるまちづくりの推進	1			1	8	商店の活性化、公共の広場を含めた美しいまちづくりの為	
	8 子どもが安心して遊べる公園や広場の充実		1		1	8		
	9 遊休施設や遊休土地などの活用				0			
	10 下水道整備の推進				0			
	11 企業誘致による雇用の創出		5		5	4	雇用が確保できていないと経済・財政基盤が弱体化しにくい。まちづくりとして(企業が誘致できるような)環境整備をきちんとして雇用を創出していく	
	12 モノづくりを中心とした既存産業の強化、人材育成の推進	2		2	4	5	産業の活性化	
	13 農業(レンコン栽培など)の保全と振興			1	1	8	これまでパナソニックが門限に大きく貢献してきたように思うため、パナソニック自体が業務の方向が変わることによって、中小企業が上手に人材育成を進めていない状況になったので、今後生き残るために強化や市のバックアップが必要	
健康・福祉・医療	14 駅周辺の商店街などの活性化				0			
	15 市民相互に支え合う地域福祉の推進		1		1	8		
	16 高齢者の生きがいと健康づくりの推進	2			2	7		
	17 子どもを安心して産み育てることができる環境整備	1	2		3	6	子どもが将来のまちづくりをするので、一人でも多くの立派な子どもが育って欲しい。	
	18 医療サービス体制の充実				0		人口が減っては市が発展しない。	
	19 生活習慣病予防や健康づくり推進				0			
	20 社会保障(生活保護等)の充実		1	1	2	8	真に社会保障を必要とする判定が必要。例えば家計簿の提出(偽の申請)	
	21 生きる力と豊かな心を育む教育の推進	3	3		3	9	1	道徳教育充実一掃ばかり主張するのではなく、社会に貢献する気持ちを持つ人間を育てる。生きる力は自助努力をすることである。学力向上も大切ですが…。
教育・文化	22 学力の向上をめざした教育の推進	3		3	6	3	日本のリマナーの育成。未来を作る子どもたちを育てるために必要。エリート教育	
	23 地域ぐるみの教育推進(青少年育成等)	4		1	5	4	21年度文科省の教育課程、厚労省の保育指針の変更に伴い、認定こども園の推進等、幼児を取り組む行政の実化について行けない。	
	24 文化芸術を兼ね、自らも参加できる社会の形成	1			1	8	人的心を育てるのは文化や芸術です。	
	25 生涯学習環境・機会の充実	4			4	5	まちづくりは人づくりから、市民全体のレベル向上が必要	
	26 歴史遺産や伝統文化の保存・継承				0			
	27 食育の推進				0			
	28 災害対策(防災体制の確立、自主防災の推進等)の推進		1	1	2	8	市民の安全確保(洪水、地震、新インフル)備える。	
	29 地域における防災・防犯対策の推進	2			2	7		
安全・安心など市民生活	30 義務教育施設の耐震改修の促進				0			
	31 消防力の強化、救急・救助体制の充実				0			
	32 市民の消費生活の支援対策の充実				0			
	33 NPO・ボランティアなどの連携による協働社会の形成	1	3		4	5	既存ボランティアをもっと活かし、協力支援をし、また、新たに育んでいく。	
	34 元気な高齢者の活用促進				0		ボランティア溢れる町へ、市民参加の活性化。	
人づくり・市民との協働	35 家族や地域の絆の強化			2	2	7		
	36 男女共同参画社会の形成				0			
	37 自治会・地域コミュニティの活性化		2		2	7	コミュニティの場がない	
	38 環状型社会形成に向けた取り組みの推進(ごみ減量化、リサイクル・資源循環)	2			2	7	環状する問題に全員で取り組むことで町に活気が生まれるのでは、門限が買われれば大坂が変わる。大坂が変われば日本が変わる。そして世界が変わる。	
環境	39 美しいまちづくりの推進	1		3	4	5	町が変われば人も物量も変化があると思う。	
	40 緑化推進対策の充実				0		きれいな町へ、イメージアップ市全体がかかわる結果が見える。	
	41 持続可能な都市経営への取り組みの推進(効率的・効果的な財政運営や自主財源の確保)	3	3		2	8	2	まず、行政が市民の立場にもなって市民が何を求めているのか理解してそのいを取り込んでほしい。
	42 わかりやすい市の組織の再編				0			
財政・行政運営	43 行政の積極的な情報公開				0			
	44 市民意見の行政反映システムの構築		6		6	3	まず、これが成されるなければどういふ金額を持っても意味がないと思う。	
	45 目的や目標、結果がえられる施策の設定と推進	6			6	3	思いを実現させるために、必ず必要になる項目	
	46 障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づくり		2	2	2	7	まちづくりを考えるためのきっかけとなると思います(ソフト・ハード)	
	47 国際交流を促す環境づくり				0			
追加課題	48 市民が市政に関心しやすくなる環境づくり(納税者目録での財政運営)	5			5	4	市民の声を反映されず少ずつでも改善できていけば、行政への関心は高まるのではないのでしょうか。高齢者、子育て中のおおさん、障がいをもつ人の意見を積極的に取り入れる、くみあげる工夫が必要です。頼りもってもらいアイデアがあればいいなとおも。	
	49 安全で便利に通行できる道路整備	2			2	7	伊達が無く、道路に電柱が出っかけていてバスがセンターラインをこえないと通行できない。	

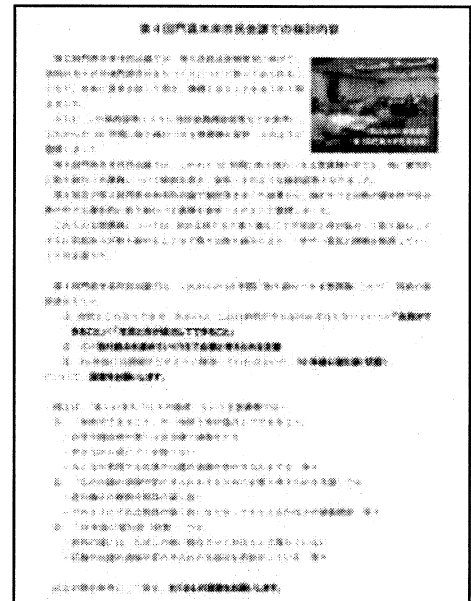
第4回門真未来市民会議

◇日時：平成21年4月22日（水）及び24日（金）午後7時～9時

◇場所：門真市立文化会館1階ホール

◇会議経過

1. 開会（市事務局）
2. 前回門真未来市民会議の結果報告と第4回会議の進め方等について（ファシリテーター）
3. ワークショップ
 - ・テーマ：重点的に対応すべき課題について、それぞれの目指すべき10年後の姿とその実現に向けた必要な取組みの提案
4. 今後の検討の進め方などについて
5. 振り返りシート（アンケート）への記入
6. 閉会（市事務局）



◇第4回門真未来市民会議に向けて事前に配付された資料(資料-2は第3回会議に掲載のため省略)

◇門真市のこれからのまちづくりにおける重点課題(案)表 *含4月8日の門真未来市民会議の検討

	都市イメージや人口・世帯構成面	地理的状況や交通面	都市構造や市街地環境面	商工業・農業等の産業面	健康・福祉・医療面	教育・文化面	安全・安心など市民生活面	人づくりや市民との協働面	環境面	財政・行政運営面
社会潮流	・人口減少と少子高齢化の進展 ・労働力人口の減少 ・核家族化の進行	・公共交通利用者の減少に伴うサービス低下 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 ・交通の利便性向上に伴う生活圏の広域化	・大型店の郊外立地に伴う中心市街地の衰退 ・コンパクトシティへの動き ・まちのアメニティーや個性などを求める市民ニーズに対応した質の高い公共空間整備への要望の高まり	・グローバル化による国際競争力の激化 ・世界的な経済不況 ・後継者、担い手の不足 ・外国人労働者の増加 ・人口減少による消費需要の減少 ・高齢者の増加による医療福祉や介護・楽園産業需要の増大	・更なる子育て支援策を求める機運の高まり ・生活習慣病の増加 ・医師不足による医療体制の崩壊 ・核家族化の進行による子育てや介護の機能低下 ・高齢者の増加による患者や要介護者数の増加 ・健康づくりへの意識の高まり	・家庭や地域での教育力の低下 ・いじめや学級崩壊の増加 ・文化・芸術への関心の高まり ・児童の減少による教育施設の遊休化	・子どもへの犯罪増加 ・自然災害の増加 ・災害に強いまちづくりを求める機運の高まり ・凶悪犯罪の増加 ・食の安全に対する関心の高まり ・悪質な商取引への不安の高まり	・地域コミュニティの希薄化 ・市民協働推進のための取組みの増加 ・若年層の減少による地域活力の低下や担い手不足などによる地域組織活動の停滞	・地球規模の環境問題への取組みの進展 ・省資源化、リサイクルの普及 ・バイオエネルギー等の活用 ・良好な自然環境の保全、回復を求める機運の高まり ・温暖化に伴う熱中症や感染症の増加 ・市民の多様なニーズに対応した公共サービス充実への要望の高まり	・景気悪化に伴う税収の減少 ・地方分権による地方自治体の事務量の増加 ・市民協働を踏まえた役割分担の必要性 ・広域連携の推進 ・生産年齢人口の減少による税収の減少 ・高齢者の増加による社会保障支出の増大 ・市民の多様なニーズに対応した公共サービス充実への要望の高まり
市民意識調査結果からみた強化が望まれる施策		・バリアフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	・街並み・景観への配慮 ・情報ネットワークの整備 ・公園・緑地の整備 ・生活道路の整備	・企業誘致による雇用の創出 ・農業の振興 ・工業の活性化 ・商業の活性化	・休日、夜間などの救急医療体制 ・子どもを産み、育てやすいまちづくりの推進 ・障がい者が暮らしやすいまちづくり ・福祉施設等の整備 ・高齢者が暮らしやすいまちづくり ・心身の健康づくりの推進 ・地域福祉の推進	・子どもの個性と可能性を伸ばす教育の推進 ・学校施設等の充実 ・家庭や地域の教育力の向上 ・保護者、地域、学校の連携による教育の推進 ・ライフスタイルに応じた生涯学習の充実 ・芸術や文化にふれることができる環境づくり ・スポーツに親しめる環境づくり	・防犯対策の強化 ・交通安全対策の強化 ・災害の対策や防災体制の整備	・市政への市民意見の反映 ・男女共同参画社会づくり	・自然環境の保全	・行財政の適切な運営 ・市の組織のわかりやすさ ・行政の積極的な情報公開
市民活動団体、企業、市民活動の強化が望まれる対策										
市民活動団体アンケート調査(調査中)										
「門真市製造業に関する実態調査報告書」(平成20年3月)より										
第2回門真未来市民会議での意見		◇市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成	◇安全で便利に通行できる道路整備 ◇子どもが安心して遊べる公園や広場の充実	◇産業の活性化 ◇雇用の創出	◇子育てを通じて親自身が成長することができる環境整備	◇教育力の向上や家庭・地域・学校の連携強化による子どもの教育環境の改善 ◇文化を育む環境づくり	◇防犯対策の促進 ◇災害に強いまちづくりの推進	◇多文化共生・国際交流の促進 ◇コミュニティの育成 ◇市民のモラルや思いやりの高揚	◇市民の環境保全・美意識の高揚と取り組みの促進	◇効率的・効果的な行財政運営の推進 ◇市民も参加し、目的や目標、成果がみえる第5次総合計画に
市役所職員ワーキンググループで検討されたまちづくりの課題	・若年ファミリー層がいつまでも「住み続けたい」と思う定住魅力の創出	・南部地域の交通サービスの充実対策 ・歩行者や自転車安心・快適に通行できる生活道路空間の確保 *平坦な地形を活かし、道路空間の再編による歩道・自転車道整備	・第二京阪道路の影響を考慮しつつ、平坦でコンパクトな市街地を活かしたまちづくり ・幸福・中間の再開発による活性化や災害に強いまちづくりの推進 ・子どもが安心して遊べる公園や広場の充実 ・遊休施設や遊休土地などの活用 ・下水道の整備推進	・新たな産業の創出 ・自動車試験場来場者を活用した商業の活性化 ・れんこん栽培の保全	・一人暮らし老人への支援対策の充実 ・高齢者など健康づくりの推進 ・安心して暮らせる医療サービス体制の充実 ・安心して子どもを産み、育てることができる環境整備 ・子育てを通じて親自身が成長することができる環境整備	・子どもの学力向上への対策 ・子どもの健全な育成環境の創出 ・食育の推進 ・生涯学習環境の充実 ・文化的環境の醸成 ・スポーツが楽しめる環境の充実	・防犯対策の促進 ・コミュニティの育成	・協働推進体制の充実とボランティアの発掘・育成 ・公報広報の充実	・市民の環境保全意識の高揚と取り組みの促進 ・第二京阪道路の環境監視と環境対策 ・美しいまちづくりの推進 ・緑化推進対策の充実	・生活保護世帯増加への対策 ・効率的・効果的な行財政運営の推進 ・目的や目標がみえる施策の設定と推進 ・縮む政策(投資)的経費の有効活用
この10年において対応すべき主要課題(案)	1.市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成 2.高齢者が安心して生きがいを持って暮らせ、まちに活気を生み出す若年、ファミリー層が「住みたい」「住み続けたい」と思うまちづくりの推進	3.バリアフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進 4.自転車が安全に利用できるまちづくりの推進 5.誰もが便利に生活しやすい公共交通サービスの充実	6.密着市街地再生の推進 7.駅前シンボルゾーンにおけるまちづくりの推進 8.子どもが安心して遊べる公園や広場の充実 9.遊休施設や遊休土地などの活用 10.下水道整備の推進 49.安全で便利に通行できる道路整備	11.企業誘致による雇用の創出 12.モノづくりを中心とした既存産業の強化、人材育成の推進 13.農業(れんこん栽培など)の保全と振興 14.駅周辺の商店街などの活性化	15.市民相互に支え合う地域福祉の推進 16.高齢者の生きがいと健康づくりの推進 17.子どもを安心して産み育てることができる環境整備 18.医療サービス体制の充実 19.生活習慣病予防や健康づくり推進 20.社会保障(生活保護等)の充実 46.障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づく	21.生きると豊かな心を育む教育の推進 22.学力の向上をめざした教育の推進 23.地域ぐるみの教育推進(青少年育成等) 24.文化芸術を楽しむ、自らも参加できる社会の形成 25.生涯学習環境・機会の充実 26.歴史遺産や伝統文化の保存・継承 27.食育の推進	28.災害対策(防災体制の確立、自主防災の推進等)の推進 29.地域における防災・防犯対策の推進 30.義務教育施設の耐震改修の促進 31.消防力の強化、救急・救助体制の充実 32.市民の消費生活の支援対策の充実	33.NPO・ボランティアなどとの連携による協働社会の形成 34.元気な高齢者の活用促進 35.家族や地域の絆の強化 36.男女共同参画社会の形成 37.自治会・地域コミュニティの活性化 47.国際交流を促す環境づくり	38.循環型社会形成に向けた取り組みの推進(ごみ減量化、リサイクル・再資源化等) 39.美しいまちづくりの推進 40.緑化推進対策の充実	41.持続可能な都市経営への取り組みの推進(効率的・効果的な行財政運営や自主財源の確保) 42.わかりやすい市の組織の再編 43.行政の積極的な情報公開 44.市民意見の行政反映システムの構築 45.目的や目標、結果がみえる施策の設定と推進 48.市民が市政に親しむことのできる環境づくり(納税者目録での行財政運営)

【強み】大手メーカーの本拠地としての知名度が高い
・金型・めっきなどの基盤産業や原材料等の商社など多様な産業が集積
・作業者の確保が容易

【弱み】市場規模など需要環境
・大学や公設試験研究機関との連携
・研究者・技術者の集積

【課題】知の集積やサービス集積が活かせていない
・人材確保面、従業員の高齢化が課題
・従業員規模が多いほど、出荷額の増加が多いほど、市場占有率の高いほど移転の意向が強い。

■第3回門真未来市民会議の検討結果からみたらこの10年において対応すべき主要課題の優先性の検討結果
 この10年において対応すべき主要課題(案)

分野	課題NO.	課題内容	政策分野		優先順位		合計点
			政策分野	合計点	優先順位	合計点	
教育・文化面	A 1	生きる力と豊かな心を育む教育の推進				1	9
	A 2	学力の向上をめざした教育の推進				2	6
	A 3	地域ぐるみの教育推進(青少年育成等)				3	5
	A 4	生涯学習環境・機会の充実		1		4	4
	A 5	文化芸術を楽しめ、自らも参加できる社会の形成			25	5	1
	A 6	歴史遺産や伝統文化の保存・継承				6	0
	A 7	食育の推進				6	0
商工業・観光・農林業等の産業面	B 1	企業誘致による雇用の創出				1	5
	B 2	モノづくりを中心とした既存産業の強化、人材育成の推進		2		2	4
	B 3	農業(レンコン栽培など)の保全と振興			10	3	1
	B 4	駅周辺の商店街などの活性化				4	0
健康・福祉・医療面	C 1	子どもを安心して産み育てることができる環境整備				1	3
	C 2	高齢者の生きがいと健康づくりの推進				2	2
	C 3	障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づくり				2	2
	C 4	市民相互に支え合う地域福祉の推進		3		3	1
	C 5	社会保険(生活保護等)の充実			9	3	1
	C 6	医療サービス体制の充実				4	0
	C 7	生活習慣病予防や健康づくり推進				4	0
人づくり・市民との協働面	D 1	NPO・ボランティアなどの連携による協働社会の形成				1	4
	D 2	自治会・地域コミュニティの活性化				2	2
	D 3	家族や地域の絆の強化				2	2
	D 4	男女共同参画社会の形成		4		3	0
	D 8	国際交流を促す環境づくり				3	0
	D 6	元気な高齢者の活用促進				3	0
	E 1	ハリアフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進				1	3
	E 2	安全で便利に通行できる道路整備				2	2
都市構造や交通、市街地環境面	E 3	駅前シンボルゾーンにおけるまちづくりの推進				3	1
	E 4	子どもが安心して遊べる公園や広場の充実				3	1
	E 5	自転車が安全に利用できるまちづくりの推進		5		4	0
	E 6	誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実			7	4	0
	E 7	密集市街地再生の推進				4	0
	E 8	遊休施設や遊休土地などの活用				4	0
環境面	E 9	下水道整備の推進				4	0
	F 1	美しいまちづくりの推進				1	4
	F 2	循環型社会形成に向けた取り組みの推進(ごみ減量化、リサイクル、再資源化等)		6		2	2
安全・安心など市民生活面	F 3	緑化推進対策の充実				3	0
	G 1	地域における防災・防犯対策の推進				1	2
	G 2	災害対策(防災体制の確立、自主防災の推進等)の推進				2	1
	G 3	義務教育施設の耐震改修の促進		7		3	0
	G 4	消防力の強化、救急・救助体制の充実				3	0
市政運営	G 5	市民の消費生活の支援対策の充実				3	0
	H 1	持続可能な都市経営への取り組みの推進(効率的・効果的な行政運営や自主財源の確保)				1	8
	H 2	市民意見の行政反映システムの構築				2	6
	H 3	目的や目標、結果がみえる施策の設定と推進				2	6
	H 4	市民が市政に親しむことができる環境づくり(納税者目録での行政運営)		-	25	2	6
	H 5	わかりやすい市の組織の再編				3	5
将来像	H 6	行政の積極的な情報公開				4	0
	I 1	市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成				4	0
将来像	I 2	高齢者が安心して生きがいを持って暮らせ、まちに活気を生み出す若年、ファミリー層が住みたい「住み続けたい」と思うまちづくりの推進				9	3

注1) 政策分野の順位は、第3回門真未来市民会議で投票された分野の課題に対する合計点の多い順に並べたものです。
 また、政策分野内課題の順位は、投票された点数の多い順に並べたものです。
 注2) 将来像に掲げています主要課題は、各政策分野や市政運営の包括的な課題であると考え、政策分野や市政運営とは別にしました。

検討表

この10年において対応すべき主要課題の取り組みの提案検討表(その1)

分類	この10年において対応すべき主要課題(案)		(参考) 主要課題として設定した意見など				取り組みの提案をお願いします。			10年後に望む姿 どのような姿になっていけばよいか提 案をお願いします。
	課題NO.		社会の潮流からみた課題	市民意識調査結果	門真未来市民会議での意見	市職員ワーキンググループ での意見	市民ができること	市民と市が 協力してできること	左記の取り組みに 必要な支援	
教育・文化 面	A 1	生きる力と豊かな心を育む教育の推進		・子どもの個性と可能性を伸ばす教育の推進						
	A 2	学力の向上をめざした教育の推進	・家庭や地域での教育力の低下 ・いじめや学級崩壊の増加		・教育力の向上や家庭・地域・学校の連携強化による子どもの教育環境の改善		・子どもの学力向上への対策			
	A 3	地域ぐるみの教育推進(青少年育成等)		・家庭や地域の教育力の向上 ・保護者、地域、学校の連携による教育の推進			・子どもの健全な育成環境の創出			
	A 4	生涯学習環境・機会の充実		・ライフスタイルに応じた生涯学習の充実 ・スポーツに親しめる環境づくり			・生涯学習環境の充実や文化的環境の醸成 ・スポーツが楽しめる環境の充実			
	A 5	文化芸術を楽しめ、自らも参加できる社会の形成	・文化・芸術への関心の高まり	・芸術や文化にふれることができる環境づくり		・文化を育む環境づくり				
	A 6	歴史遺産や伝統文化の保存・継承								
	A 7	食育の推進					・食育の推進			
商工業・観光・農林業等の産業面	B 1	企業誘致による雇用の創出		・企業誘致による雇用の創出			・新たな産業の創出			
	B 2	モノづくりを中心とした既存産業の強化、人材育成の推進	・グローバル化による国際競争力の激化	・工業の活性化						
	B 3	農業(レンコン栽培など)の保全と振興	・後継者、担い手の不足	・農業の振興		・産業の活性化 ・雇用機会の充実	・れんこん栽培の保全			
	B 4	駅周辺の商店街などの活性化	・人口減少による消費需要の減少 ・交通の利便性向上に伴う生活圏の広域化 ・大型店の郊外立地に伴う中心市街地の衰退 ・コンパクトシティ化への動き	・商業の活性化			・自動車試験場来場者を活用した商業の活性化			
健康・福祉・医療面	C 1	子どもを安心して産み育てることができる環境整備	・更なる子育て支援策を求める機運の高まり	・子どもを産み、育てやすいまちづくりの推進	・子育てを通じて親自身が成長することができる子育てへの環境整備	・安心して子どもを産み、育てることができる環境の整備 ・子育てを通じて親自身が成長することができる子育てへの環境整備				
	C 2	高齢者の生きがいと健康づくりの推進	・高齢者の増加による患者や要介護者数の増加 ・健康づくりへの意識の高まり	・高齢者が暮らしやすいまちづくり		・一人暮らし老人への支援対策の充実 ・高齢者など健康づくりの推進				
	C 3	障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づくり		・障がい者が暮らしやすいまちづくり	・障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づくり					
	C 4	市民相互に支え合う地域福祉の推進	・核家族化の進行による子育てや介護の機能低下	・地域福祉の推進 ・福祉施設等の整備			・一人暮らし老人への支援対策の充実 ・生活保護世帯増加への対策			
	C 5	社会保障(生活保護等)の充実	・高齢者の増加による社会保障支出の増大							
	C 6	医療サービス体制の充実	・医師不足による医療体制の崩壊	・休日、夜間などの救急医療体制			・安心して暮らせる医療サービス体制の充実			
	C 7	生活習慣病予防や健康づくり推進	・生活習慣病の増加	・心身の健康づくりの推進						
人づくり・市民との協働面	D 1	NPO・ボランティアなどの連携による協働社会の形成		・市民協働推進のための取り組みの増加 ・地方分権による地方自治体の事務量の増加 ・市民協働を踏まえた役割分担の必要性 ・市民の多様なニーズに対応した公共サービス充実への要望の高まり			・協働推進体制の充実とボランティアの発掘・育成			
	D 2	自治会・地域コミュニティの活性化	・地域コミュニティの希薄化		・コミュニティの育成					
	D 3	家族や地域の絆の強化				・市民のモラルや思いやりの高揚				
	D 4	男女共同参画社会の形成		・男女共同参画社会づくり						
	D 5	国際交流を促す環境づくり			・多文化共生・国際交流の促進					
	D 6	元気な高齢者の活用促進	・若年層の減少による地域活力の低下や担い手不足などによる地域組織活動の停滞							

■この10年において対応すべき主要課題の取り組みの提案検討表(その2)

分野	課題NO.	(参考) 主要課題として設定した意見など				取り組みの提案をお願いします。			10年後に望む姿 どのような姿になっていれよいか提案をお願いします。
		社会の潮流からみた課題	市民意識調査結果	門真未来市民会議での意見	市職員ワーキンググループでの意見	市民ができること	市民と市が協力してできること	左記の取り組みに必要な支援	
政策分野	都市構造や交通、市街地環境面	E-1	バリアフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	・バリアフリー・ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	・バリアフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進				
		E-2	安全で便利に通行できる道路整備		・生活道路の整備	・安全で便利に通行できる道路整備			
		E-3	駅前シンボルゾーンにおけるまちづくりの推進	・コンパクトシティ化への動き			・幸福・中町の再開発による活性化や災害に強いまちづくりの推進		
		E-4	子どもが安心して遊べる公園や広場の充実		・公園・緑地の整備	・子どもが安心して遊べる公園や広場の充実	・子どもが安心して遊べる公園や広場の充実		
		E-5	自転車が安全に利用できるまちづくりの推進				・歩行者や自転車も安心・快適に通行できる生活道路空間の確保 ・第二京浜道路の影響を考慮しつつ、平坦でコンパクトな市街地を活かしたまちづくり		
		E-6	誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実	・公共交通利用者の減少に伴うサービス低下		・公共交通サービスの充実	・南部地域の交通サービスの充実対策		
		E-7	密集市街地再生の推進	・災害に強いまちづくりを求め機運の高まり	・災害の対策や防災体制の整備	・災害に強いまちづくりの推進	・幸福・中町の再開発による活性化や災害に強いまちづくりの推進		
		E-8	遊休施設や遊休土地などの活用	・児童の減少による教育施設の遊休化			・遊休施設や遊休土地などの活用		
		E-9	下水道整備の推進				・下水道の整備推進		
		環境面	F-1	美しいまちづくりの推進		・街並み・景観への配慮	・市民の環境保全・美化意識の高揚と取り組みの促進	・美しいまちづくりの推進	・第二京浜道路の環境監視と環境対策
F-2	循環型社会形成に向けた取り組みの推進(ごみ減量化、リサイクル・資源活用等)		・地球規模の環境問題への取り組みの進展 ・省資源化、リサイクルの普及			・市民の環境保全意識の高揚と取り組みの促進			
F-3	緑化推進対策の充実		・バイオエネルギー等の活用 ・良好な自然環境の保全、回復を求める機運の高まり	・自然環境の保全		・緑化推進対策の充実			
安全・安心な都市生活面	G-1	地域における防災・防犯対策の推進	・子どもへの犯罪増加 ・凶悪犯罪の増加	・防犯対策の強化 ・交通安全対策の強化	・防犯対策の促進	・防犯対策の促進			
	G-2	災害対策(防災体制の確立、自主防災の推進等)の推進		・災害の対策や防災体制の整備		・コミュニティの育成			
	G-3	義務教育施設の耐震改修の促進	・自然災害の増加 ・災害に強いまちづくりを求め機運の高まり	・学校施設等の充実	・災害に強いまちづくりの推進				
	G-4	消防力の強化、救急・救助体制の充実		・災害の対策や防災体制の整備					
	G-5	市民の消費生活の支援対策の充実	・食の安全に対する関心の高まり ・悪質な商取引への不安の高まり						
市政運営面	財政・行政運営面	H-1	持続可能な都市経営への取り組みの推進(効率的・効果的な行政運営や自主財源の確保)	・悪化による増収の減少 ・市民協働を踏まえた役割分担の必要性 ・広域連携の推進 ・生産年齢人口の減少による取組の減少 ・高齢者の増加による社会保障支出の増大	・行政の適切な運営	・効率的・効果的な行政運営の推進	・生活保護世帯増加への対策 ・効率的・効果的な行政運営の推進 ・給付政策(投資)の経費の有効活用		
		H-2	市民意見の行政反映システムの構築		・市政への市民意見の反映		・公聴広報の充実		
		H-3	目的や目標、結果がみえる施策の策定と推進			・市民も参加し、目的や目標、成果がみえる第5次総合計画に	・目的や目標がみえる施策の策定と推進		
		H-4	市民が市政に親しみることができる環境づくり(納税者目録での行政運営)		・情報ネットワークの整備				
		H-5	わかりやすい市の組織の再編		・市の組織のわかりやすさ				
		H-6	行政の積極的な情報公開		・行政の積極的な情報公開				
将来像	人口や世帯構成面	I-1	市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成	・まちのアメニティーや個性などを求める市民ニーズに対応した質の高い公共空間整備への要望の高まり ・人口減少と少子高齢化の進展 ・労働力人口の減少 ・核家族化の進行	・街並み・景観への配慮	・市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成			
		I-2	高齢者が安心して生きがいを持って暮らせ、さらに活気を生み出す若年、ファミリー層が「住みたい」「住み続けたい」と思うまちづくりの推進				・若年ファミリー層がいつまでも「住み続けたい」と思う定住魅力の創出		

◇各主要課題について模造紙に書かれた理由（第4回門真未来市民会議）

■第4回門真未来市民会議で提案された「この10年において対応すべき主要課題の取り組み(案)」(その1)

分野	課題NO.	この10年において対応すべき主要課題(案)	取り組みの提案			10年後に望む姿 どのような姿になっていれればよいか	その他の意見 (左記の項目に分類しにくい意見や提案)		
			市民ができること	市民と市が協力してできること	左記の取り組みに必要な支援				
政策分野 教育・文化 部	A 1	生きる力と豊かな心を育む教育の推進					・レイマンコントロールの形骸化や問題(物を言う教育委員を選ぶ)		
							・生きる力、教育基本。自力で切り開く意志、偉人の伝記を教育することでモチベーションを高める		
							・反日教育を止める 伊勢神宮(小学校) 沖繩(中学校) バランスを持つ人間を育てる		
							・「道徳」の授業をしているか? 市民巡回でチェック 教科書が適定されていない		
					・子供が人と話れる場をつくっていく(きっかけ)	・先生が顔に気をつかわず安心して教えられる状況をつくっていく			
						・先生を市で採用できる状況にする(採用試験方法を考える)			
					・地域社会の諸活動のなかで先輩が後輩に教えていく。	・行政活動に協力市民を参加させ、先導し市民のレベル向上を図る。	・学校教育の中にも導入し、子供が顔に教えるようにする。		
					・基本は家庭に対する対応と見ます。親が子への伝承が必要ですね。一つの家庭が市政への参加しようとする意識を振り起こす。				
									・昔の寺子屋の様な礼儀作法を第1に教える教室があれば。
									・生活保護世帯のいない世の中。3歳までは親が育てる。
					・家庭教育の推進。現状は保育園に預ける親の待機児童の解消、生活保護世帯の助成等(子育て支援ではなく、子育て放棄を推進している。)				
					・大人が勉強をしようとした事を子供達に伝えていく。(何故勉強するのかの重要性)	・学習レベルの相互連絡(評価)			・子供が将来的なリーダーとなる社会
					・自習学習が出来る様に出来る子どもは他人におしえてやる心が必要。				
					・ボランティアによる「生きる素晴らしさ等の道徳教育」の講演				
			A 2	学力の向上をめざした教育の推進					
						・教員のレベルを上げる(愛情を持って教育する先生が少ない)			
						・プロの力を借りて教育プログラムを作る			
		・親も子どもと同様に学習の関心を持つ							
		・すべて家庭が核となる。学習が習慣となる様、親子で努力							
								・土曜に学校をする(市民教師、ボランティア)	
								・お年寄りが毎日学校で仕事(ボランティア)をする。子供とふれあい情報教育になる	
		・子ども会などで寺子屋							
								・幼児の窓口の一本化。幼稚園は教育委員会、保育園は福祉推進部子育て支援課と別れては親も選択しにくいし、情報も得られない。	
		・校区ごとの自治会、PTA、子ども会、保育園、幼稚園、小学校が一同に会して問題を解決していかなければならないと思います。							
		・生きる知恵、しつけを子供に伝えていく。							
		・小学生の時から道徳的な教育をしていく。							
A 3	地域ぐるみの教育推進(青少年育成等)								
				・教え方(ほめてしかる方法)を伝えていく					
				・子供が悪いことをすると注意していく					
								・各世代が交流できる場をつくる	
								・充足した学校支援の更なる充実。その為の告知を徹底化	

■第4回門真未来市民会議で提案された「この10年において対応すべき主要課題の取り組み(案)」(その2)

分野	この10年において対応すべき主要課題(案)		取り組みの提案			10年後に望む姿	その他の意見	
	課題NO.		市民ができること	市民と市が協力してできること	左記の取り組みに必要な支援	どのような姿になっていれよいか	(左記の項目に分類しにくい意見や提案)	
教育・文化面	A 4	生涯学習環境・機会の充実					一人でも多く参加できるよう組織化 幼少は学校教育で、青・壮は日曜学校、老は老人学校 教育は年齢でなく機会が必要である 市民学校(年齢へ)	
	A 5	文化芸術を楽しめ、自らも参加できる社会の形成			・具体例を公開して助成奨励金を支出する			
	A 6	歴史遺産や伝統文化の保存・継承		・人材バンクの充実化。教育のみならず文化関係への興味を計る				・子どもの時からクラシック音楽や絵画(ルノワール、ゴッホ、モネ、マネ)にふれられる環境づくり(外国文化)
	A 7	食育の推進	・三食とる事の大切さ、特に朝ご飯の大切さを教える					
		その他						一人が協力できる一人社会 理解が出来る教育の推進 社会に役立つ知識 市民が何事でも関心を持つ 自立した個人になる
商工業・観光・農林業等の産業面	B 1	企業誘致による雇用の創出						
	B 2	モノづくりを中心とした既存産業の強化、人材育成の推進						
	B 3	農業(レンコン栽培など)の保全と振興	・家庭農園を作る		・用地を貸し出す	・緑が多い町	・幸福町のアーケード嬉しい、地震等であぶないのでは。	
	B 4	駅周辺の商店街などの活性化		・ポイント制を利用して、商店での購入を促進する。				
健康・福祉・医療面	C 1	子どもを安心して産み育てることができる環境整備						
	C 2	高齢者の生きがいと健康づくりの推進			・高齢者に生きがいや健康づくり者へバッチを与える			
	C 3	障がいのある人など誰もが社会参加できる環境づくり	・積極的にまちのなかに出て行く事が出来る雰囲気づくり		・地域活動 雇用			
	C 4	市民相互に支え合う地域福祉の推進						
	C 5	社会保障(生活保護等)の充実						
	C 6	医療サービス体制の充実					・京阪沿線は非常に所得が低いので、本市単独の医療サービスの取組は困難だと思います。出来ればゾーニングで広域で	
	C 7	生活習慣病予防や健康づくり推進	・実施者市民は表明のバッチをする。					
人づくり・市民との協働面	D 1	NPO・ボランティアなどの連携による協働社会の形成	・市民は広報を頼む	・連携により推進する			・利己主義を生まない、社会貢献、ボランティアをする人を育てる。エセボランティアの遠放	
			・大人として門真をどういう風にしたらいのかを子供に示していく					
			・ボランティアの登録(手軽に多くの方が)	・市民ボランティア&市職員ボランティアのNPO	・市職員若手のNPOボランティアリーダーの育成	・協働ボランティアNPO組織 テーマ10? 自治?		
					・子供でも分かる広報をつくる			
D 2	自治会・地域コミュニティの活性化					・NPO、ボランティアの全体会議を行政が声をかけて行う。		
D 3	家族や地域の絆の強化						・自治会の老人会の様な人村。同じ会長が何年も続けるのは、良い事もあるが、活性的意味では遅れるのでは。	
D 4	男女共同参画社会の形成			・アイサツ強調月間を設ける			・家庭や町であいさつができる状況を100%にする	
							・観が変わっていく仕組みをつくる	

■第4回門真未来市民会議で提案された「この10年において対応すべき主要課題の取り組み(案)」(その3)

分野	この10年において対応すべき主要課題(案)		取り組みの提案			10年後に望む姿 どのような姿になってほしいか	その他の意見 (左記の項目に分類しにくい意見や提案)	
	課題NO.		市民ができること	市民と市が協力してできること	左記の取り組みに必要な支援			
人づくり・市民との協働 面	D 5	国際交流を促す環境づくり	・門真市には3,000人の外国人が住んでいます。フリップ協会や日本語学校をしている文化協会が国際交流協会と協働して活動していけばもっと活発な活動ができると思います。					
	D 6	元気な高齢者の活用促進						
	E 1	バリアフリーやユニバーサルデザインによるまちづくりの推進						
	E 2	安全で便利に通行できる道路整備						
	E 3	駅前シンボルゾーンにおけるまちづくりの推進						
	E 4	子どもが安心して遊べる公園や広場の充実						
	E 5	自転車安全に利用できるまちづくりの推進						
	E 6	誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実	・借りた自転車は必ず返す。市が市内の自転車無料レンタルを行い、寄附の手段にする。市内各所にレンタル自転車配置	・自転車を無料で貸し出して市民の足にする。市の設置自転車の有効利用				
	E 7	密集市街地再生の推進						
	E 8	遊休施設や遊休土地などの活用						
都市構造や交通、市街地環境面	E 9	下水道整備の推進						
	E 10	誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実						
	E 11	遊休施設や遊休土地などの活用						
	E 12	下水道整備の推進						
	E 13	誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実						
	E 14	遊休施設や遊休土地などの活用						
	E 15	下水道整備の推進						
	E 16	誰もが便利で生活しやすい公共交通サービスの充実						
	E 17	遊休施設や遊休土地などの活用						
	E 18	下水道整備の推進						
環境面	F 1	美しいまちづくりの推進	・ゴミを捨てない人がどんどんキレイにしていける。する人にわかってもらう。(できる人ができる事をして分かってもらう)					
	F 2	循環型社会形成に向けた取り組みの推進(ごみ減量化、リサイクル・再資源化等)						
	F 3	緑化推進対策の充実						
安全・安心など市民生活面	G 1	地域における防災・防犯対策の推進						
	G 2	災害対策(防災体制の確立、自主防災の推進等)の推進						
	G 3	義務教育施設の耐震改修の促進						
	G 4	消防力の強化、救急・救助体制の充実						
	G 5	市民の消費生活の支援対策の充実						
財政・行政運営面	H 1	持続可能な都市経営への取り組みの推進(効率的・効果的な行政運営や自主財源の確保)						
	H 2	市民意見の行政反映システムの構築						
	H 3	目的や目標、結果がみえる施策の設定と推進						
	H 4	市民が市政に頼むことができる環境づくり(納税者目線での行政運営)						
	H 5	わかりやすい市の組織の再編						
将来 人口や世帯 構成面	I 1	市民が誇りに思う新たな都市イメージ・ブランドの形成						
	I 2	高齢者が安心して生きがいを持って暮らせ、まことに活気を生み出す若年、ファミリー層が「住みたい」「住み続けたい」と思うまちづくりの推進						

第5回門真未来市民会議

◇日時：平成21年5月13日（水）午後7時～9時

◇場所：門真市立文化会館1階ホール

◇会議経過

1. 開会（市事務局）
2. 前回門真未来市民会議の結果報告
と第5回会議の進め方等について
（ファシリテーター）

*参加者とワークショップにおいて
検討する「強化を図るべき分野」
について検討を行い、次の3テー
マに分かれ、検討を行うこととし
た。

- ・Aグループ
～教育・文化分野～
- ・Bグループ
～健康・福祉・医療分野～
- ・Cグループ
～人づくり・市民との協働分野～

3. ワークショップ
 - ・テーマ：強化を図るべき分野における主要課題の取り組みと
目指すべき10年後の姿の検討
4. グループ別の検討結果の発表
 - *各グループでどのような話し合いや意見が出されたかを発表
5. 次回の門真未来市民会議について
6. 振り返りシート（アンケート）への記入
7. 閉会（市事務局）

◇第5回門真未来市民会議に向けて事前に配付された資料は第4
回会議に掲載のため省略

第5回門真未来市民会議での検討内容

第4回門真未来市民会議では、第3次総合戦略策定に向けて、門真未来市民会議で調査した意見や市民意識調査結果などを参考に整理いただきました「これから10年間に取り組むべき主要課題」に対し、

① 市民もこれを行える、あるいは、これは市
民がやらなければならないといった「実施がで
きること」や「市民と市が協働してできること」

② この数で組みを進めていくうえで必要と考
えられる実施

③ 10年後には課題がどのように解決してい
るのか、10年後に読む姿（状態）



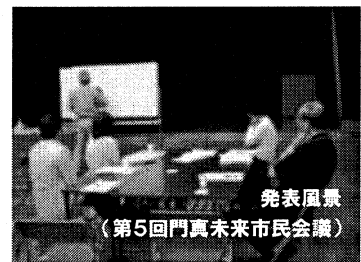
行われて、4月28日（水）と4月29日（金）の2グループに分かれ、各自で発表を
いたしました。

なお、ご発表いただきました内容を資料一冊に記録しています。

第5回会議では、第4回会議での検討内容を参考にしながら、門真未来市民会議参加者そ
れぞれが関心のある分野別のグループに分かれ、特定の分野の課題について、第4回会議と同
様に上記①～③の内容についての検討を深め、各分野の課題をグループとしてまとめていただき
たいと考えています。

*「教育・文化」や「暮らし・健康・医療」等の各分野、など資料「この日の「分野」です。

各分野別グループの分け方などについては、第5回門真未来市民会議の最終に皆様にお話を
してまいりますのでよろしくお願いいたします。



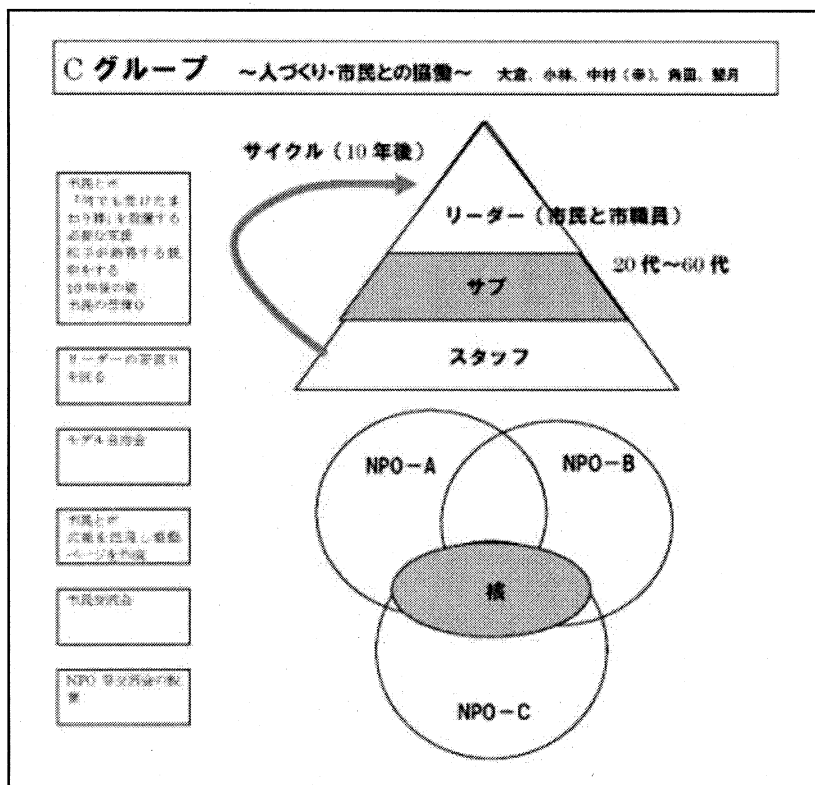
発表風景
（第5回門真未来市民会議）



発表風景
（第5回門真未来市民会議）



検討風景
（第5回門真未来市民会議）



第6回門真未来市民会議

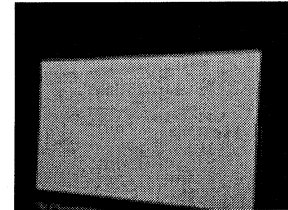
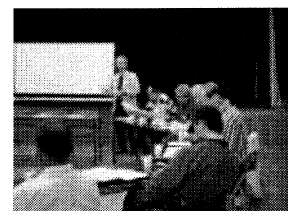
◇日時：平成21年6月10日(水)午後7時～9時

◇場所：門真市立文化会館1階ホール

◇会議経過

1. 開会(市事務局)
2. 前回門真未来市民会議の結果報告と第6回会議の進め方等について
(ファシリテーター)
3. 意見交換
 - ・テーマ：「門真未来市民会議検討報告書(案)」について
 - *意見交換の結果、「1. 検討結果の概要」の表現方法への修正意見や「第5次総合計画策定に際する基本的な視点の提案」に関する意見を踏まえ、修正・追加した報告書(案)について、再度、門真未来市民会議において検討することとなった。
4. その他
5. 振り返りシート(アンケート)への記入
6. 閉会(市事務局)

◇第6回門真未来市民会議に向けて事前に配付された資料は本報告書(案)のため省略



第7回門真未来市民会議

◇日時：平成21年6月24日（水）午後7時～

◇場所：門真市立文化会館1階ホール

◇会議経過

1. 開会（市事務局）
2. 「門真未来市民会議検討報告書（案）」の修正案について（ファシリテーター）
3. 意見交換

・テーマ：「門真未来市民会議検討報告書（案）」について

*意見交換の結果、修正された「門真未来市民会議検討報告書（案）」から（案）を取り、市に提出することとし、市が主催する門真未来市民会議は終了することとなった。

4. その他

*門真未来市民会議終了後に、「市への要望を言うだけではなく、門真を良くしようと集まったメンバーなので、私たち市民ができることなど、市民が主体となって話し合う場を設けては」という提案をもとに、みんなで話し合った結果、門真未来市民会議参加者がまず中心になって、市民のまちづくりの環を広げていこうということになり、参加者を募ることとした。

5. 振り返りシート（アンケート）への記入
6. 閉会（市事務局）

◇第6回門真未来市民会議に向けて事前に配付された資料は本報告書（案）のため省略

